

先生各位

検体採取容器変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、下記の項目におきまして、検体採取容器を変更させていただきますのでご案内申し上げます。今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《変更日》 現行の容器がなくなり次第順次

《変更内容》

2015年 総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
P.122 P.182	6038	細胞診 呼吸器 (蓄痰)	検体 採取容器 (P2)		
			有効期限	1 年	6 ヶ月
			内容 (粘液融 解剤)	容器キャップのパ ッキングシールに 塗布	固定液に溶解済

※ 旧容器（在庫）での受託も継続致します。その他の検査内容に変更はございません。

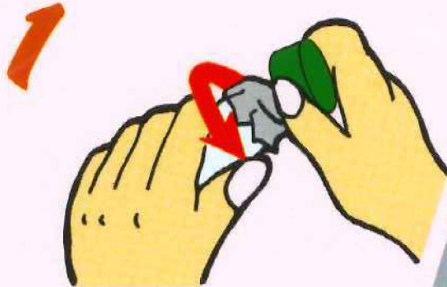
《変更理由》 現行の P2 容器が生産中止となるため

《備 考》

- ・本変更による「商品コード」の変更はございません。
- ・「正しい痰のとり方」につきましては、別添の資料をご参照ください（メーカー資料）。

正しい痰のとり方

※3番4番5番6番を3日間繰り返して下さい。



蓋をとる



シールをはがす

シールはきれいに全部はがして捨てて下さい。破片が残っていると液がもれることがあります。

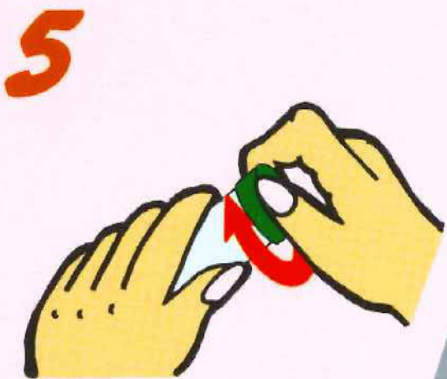


容器の口に紙の「ろ過紙」を広げてさし入れ、たんを入れやすくします。



痰を出す

袋に印刷してある「たんの出し方」を読んで下さい。



蓋をしっかりしめる



図のように容器をもって強くふって下さい。

容器を強く振盪し、痰を完全に溶かす。(通常約50回位) 正確な検査のために痰を完全に溶かすことは特に重要です。